

大腸CT検査について

大腸CT検査とは？



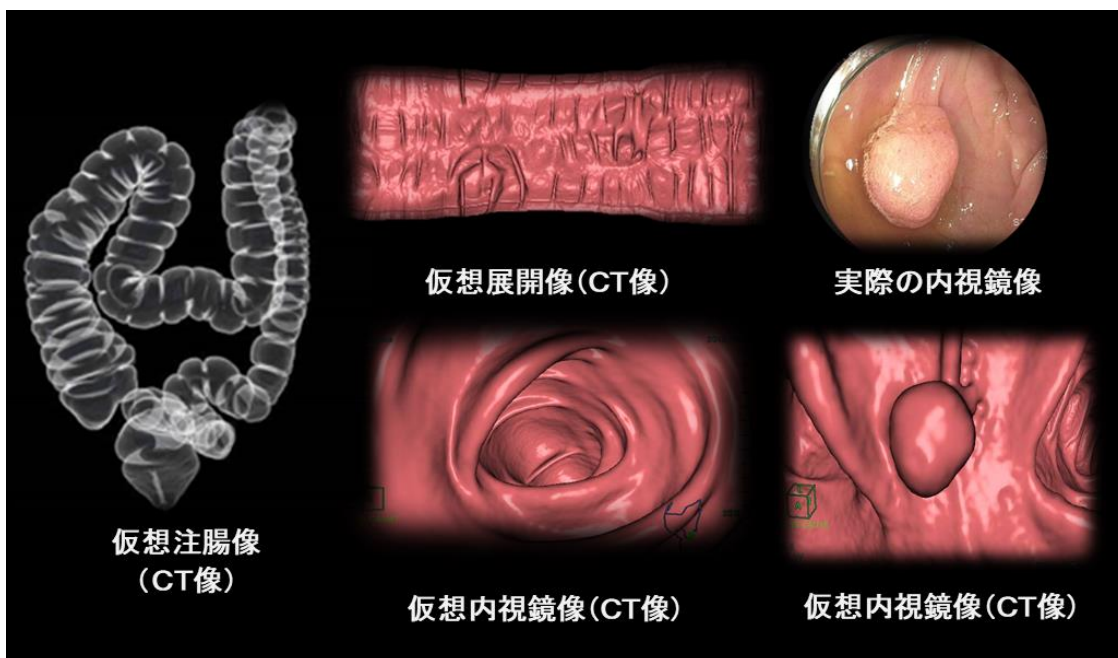
○内視鏡を使わない新しい検査です

○マルチスライスCT装置により3次元画像を作成して
正確な検査が行えます

○内視鏡挿入や造影剤注入の必要がないため苦痛の
少ない検査です

(吸収・排出されやすい炭酸ガスの注入は必要となります)

○検査部屋入室から退室まで20分程度の検査です



新型のCTで鮮明な画像の作成や3次元画像による大腸内部の検査も行えます

●大腸CTで異常が見つかった場合は内視鏡による
検査が必要となります

内視鏡検査について



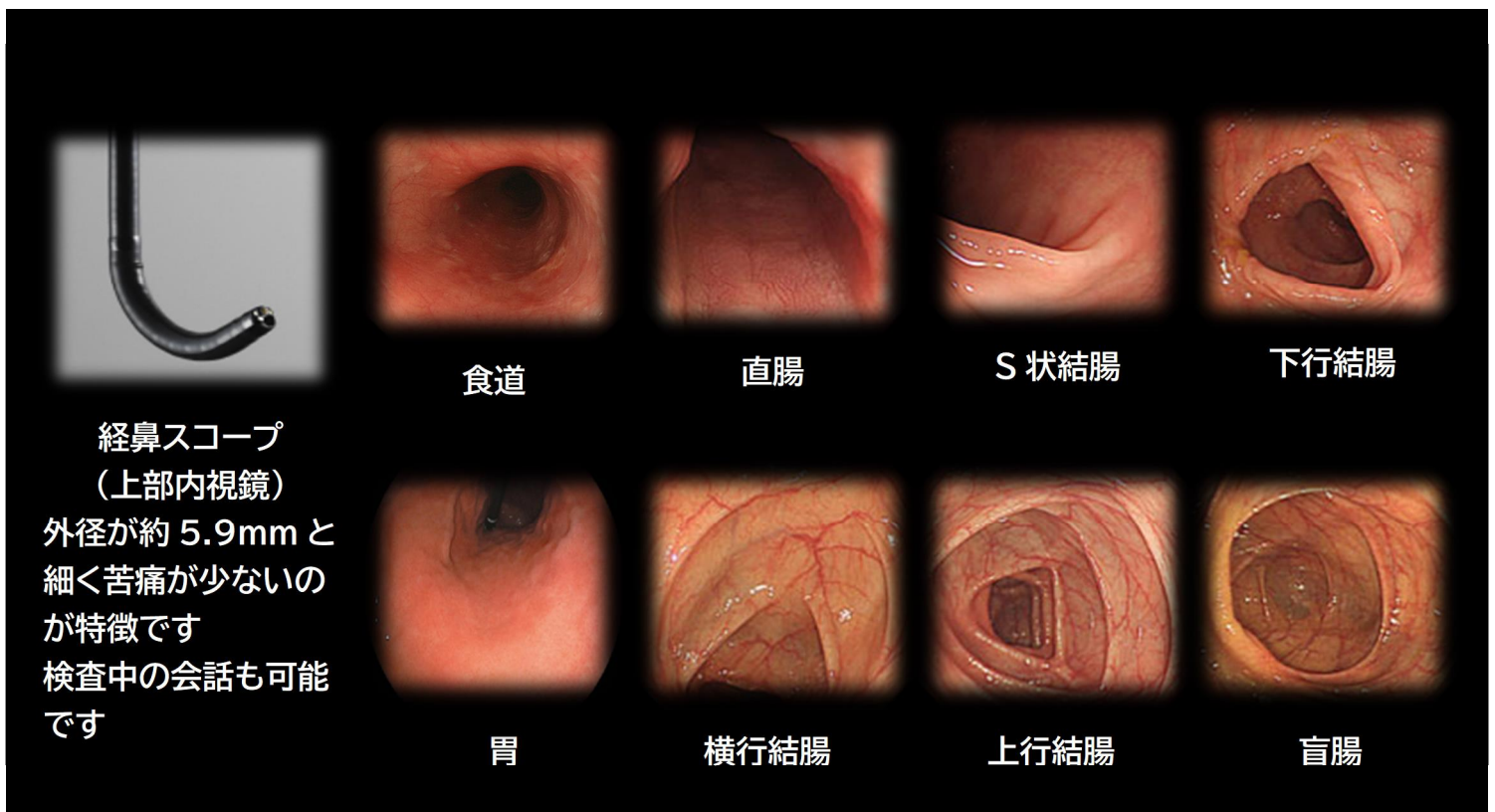
内視鏡検査には

**上部内視鏡検査 (経鼻胃カメラ検査) と
下部内視鏡検査 (大腸カメラ検査) があります**

○先端にカメラの付いた細い柔軟なチューブ (内視鏡) を
上部検査時には鼻、下部検査時には肛門から、各々の
チューブを挿入し、食道・胃・十二指腸などの内部を
テレビモニタに写し出して、直接観察・診断が行える
検査です

○小さなポリープは切除可能です

○検査の前に十分な説明を行い、リラックスして検査を
受けて頂けるよう心がけております



経鼻スコープ
(上部内視鏡)

外径が約 5.9mm と
細く苦痛が少ないの
が特徴です
検査中の会話も可能
です

食道

直腸

S 状結腸

下行結腸

胃

横行結腸

上行結腸

盲腸

異常所見を疑った場合などには、精密検査を追加する場合があります